

令和 5 年度政務活動費収支報告書

議員名 伊達 正信

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費	0	0
調査研究費	71,700	68,376
資料作成及び資料購入費	0	0
広報及び広聴費	244,530	195,624
人件費	0	0
事務所費	0	0
合計	316,230	264,000

3 残額

0 円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)

令和5年度 政務活動費明細書

No	内容	項目	費目											(単位:円)		
			旅費	講師謝金	出席負担金	印刷製本費	図書購入費	備品購入費	消耗品費	使用料	郵送料	手数料	賃金	その他	領収書額	政務活動費報告額
1	6月議会報告書印刷代	広報及び広聴費				74,140									74,140	59,312
2	9月議会報告書印刷代	広報及び広聴費				96,250									96,250	77,000
3	12月議会報告書印刷代	広報及び広聴費				74,140									74,140	59,312
4	視察旅費	調査研究費	71,700												71,700	68,376
5															0	
6															0	
7															0	
8															0	
9															0	
10															0	
11															0	
12															0	
13															0	
14															0	
15															0	
16															0	
17															0	
18															0	
19															0	
20															0	
合 計			71,700	0	0	244,530	0	0	0	0	0	0	0	0	316,230	264,000

研修開催費	0	0
調査研究費	71,700	68,376
資料作成・資料購入費	0	0
広報及び広聴費	244,530	195,624
人件費	0	0
事務所費	0	0
合 計	316,230	264,000

領 収 証

伊達正信 様

¥ 74,140 -



但 し 代 正 信 通 信 地 印 刷 代

上 記 金 額 正 に 領 収 致 し ま し た

令 和 5 年 7 月 12 日

内 訳	
現 金	円
小 切 手	円
手 形	円

福岡県宗像市田

TEL (0940)
FAX (0940)

取 扱 者 印

領 収 証

伊達正信 様

¥ 96,250 -



但 し 代 正 信 通 信 地 印 刷 代 (税 率 10% 税 抜 金 額 87,500 円
消 費 税 額 8,750 円)

上 記 金 額 正 に 領 収 致 し ま し た

令 和 5 年 10 月 16 日

内 訳	
現 金	円
小 切 手	円
手 形	円

福岡県宗像市田

TEL (0940)
FAX (0940)

登 録 番 号 丁

取 扱 者 印

領 収 証

伊達正信 様

74,140-

但し印刷代、及び正信通信地

上記金額正に領収致しました

令和 6 年 1 月 25 日

内 訳	
現金	円
小切手	円
手形	円

福岡県宗像市田熊

TEL (0940) 3
FAX (0940) 3

登録番号T68



税率10%
税抜金額67,400円
消費税額6,740円

取扱者印

領 収 書

:04-036886-021

24年01月26日

伊達正信 様

現金 小切手 振込
カード コンビニ

金額 ¥70,800.-

上記金額正に領収いたしました
但し、視察旅費

10%対象計	¥70,800	内税	¥6,437
8%対象計	¥0	内税	¥0
非課税対象計	¥0		



福岡市博多区博多駅前3-10-24 博多駅前

ラド観光(株)

登録番号: T6120001071915

取扱者印

※金額を訂正したものの、社印なきものは無効とします。

だて正信通信

令和5年6月 vol.40

編集・発行

だて まさのぶ
宗像市議会議員 伊達 正信

〒811-4147

宗像市石丸2丁目5-15

携帯電話 090-1082-4641

F A X 0940-35-2922

E-mail: ganbari-kita@mx22.tiki.ne.jp

公式WEBサイト <http://datemasanobu.net/>



皆様こんにちは。城山中学校が、令和5年末竣工に向け新築中です。

今年の体育祭は、福岡教育大学のグラウンドを借りての開催となりました。朝、会場について驚いたのが、公式陸上競技のように、トラックに一人一人専用のラインが引かれてありました。小中学校では初めて見る光景でした。

競技は、ほとんどが組別対抗リレーや競争遊戯でした。一つの競技が終わるたびに、最下位から成績発表です。成績に関係なく組の名前が呼ばれますと、毎回その組の全員が立ち上がり、担任(?)の先生の所へ猛ダッシュ。全員で歓喜の雄叫びを上げていました。先生方の仕掛けかなとは思いましたが、コロナ過でお叱りを受けるかもしれませんが、青春期を生きる若者には歓喜の声を上げることはとても大切だと思います。

城山中学校は、先生と生徒の繋がりがとても強いなと感じた運動会でした。

まさのぶ さんぽみち 正信の散歩路

赤間小学校前でいつも通り朝の交通誘導をしていると、黄色いランドセルカバーの女の子が大きな声で泣いている。そばで上級生の女の子が何やら話しかけている。女の子をなだめているように見える。しばらくして、もう一人の女の子が加わり、二人でご機嫌を取っているようだ。時間が随分と過ぎたので、近寄り「どうしたの?」と尋ねると、お家に帰ると泣いていると言う。二人とも知らない女の子との事。とりあえず学校へ電話を入れて、交通誘導へ戻る。しばらくすると、なんと二人の女の子に手を引かれて1年生の女の子が学校へ向かい歩き始めた。感動 2人の上級生。今日の出来事を一生忘れないだろう。未来の二人の人生の輝きが、目に浮かんできた。1年生の女の子、優しいお姉ちゃんたちに見守られて良かったね。「朝の交通誘導」ドラマがいっぱい。



半年では無理がある。中部11市(福津市、糸島市、筑紫野市等、福岡市を除く中部地域の市)では、1年以内という自治体も多いことから半年を1年以内に伸ばし、スタートできないか。

部長
回答

本市では1年という中長期的な期間設定は馴染まないと判断している。

短期的なスタートアップ支援として6か月で設定している。ただ、あくまで標準なので、個々の子どもの状況については標準を超えるサービスを提供できることを通知書にも書かせていただいている。

◎スパッとした回答に啞然としました。いったん決めたことは覆らない行政の頑なさを強く感じました。中部11市では、1年以内とする自治体が7市にも及びますので、せめて「検討はさせていただきます」との回答ぐらいはあると思っていましたが、残念な結果となりました。ひとりでも療育の中で子どもを支えてゆきたいと願う関係者の落胆を背中に感じました。保育所や幼稚園の加配の先生を始め、先生方の苦悩は当分改善されそうもありません。持って生まれた「特有の性質」は、なかなか一般の方には理解が難しく感じます。保護者の苦悩する姿が時折私の脳裏をかすめます。

それから、学校の特別支援学級の子どもたちは、通常学級でも学びます。ところが通常学級の先生方は、一人ひとり違う特有な性質を持った子どもたちへの接し方がわかりません。そこで、市教育委員会では令和3年度から通常学級の先生方に、接し方の指導を行うため、指導員を2名配置し、子どもたちの療育に当たることとなりました。

私が経験を通して学んだことは、まず、保護者が、持って生まれたその子の「特有の性質」を理解し、早い段階から専門の療育事業所等に相談し、その子にあった療育を受けさせることです。無理のない成長支援の過程で、深い愛情を注ぐことが何より大切と感じました。決して怒ってはなりません。(私の経験上の事です)「保育所等訪問支援」の標準利用期間延長につきましては、今後とも粘り強く頑張っまいます。

◆何か幼児に不安を感じたら、市役所内の「子ども家庭センター・子ども保健係」にお電話ください。☎36-1365

◆「だて正信通信」は、WEBサイトにて他の報告も加えて掲載しています。インターネットにて「伊達正信」で検索し、正信通信欄をクリックして下さい。

令和5年6月議会報告

一般質問（6月15日）

項目1 地域猫活動の推進と、その支援施策について

※地域猫活動とは、飼い主のいない猫を「地域猫」として捕獲し、不妊去勢手術を行い、元の場所へ戻す。その後、エサやりとトイレなどの管理を行う活動が「地域猫活動」と呼ばれています。令和4年度は市が把握している分で189頭の猫に手術を施しました。そのうち、175頭が手術代無料で行うことができましたが、本年度からは、無料で行ってくれる動物病院が無くなりました。伊豆市長の指示で「地域猫活動」団体支援のため、ガバメントクラウドファンディング（ふるさと納税で使い道を、より具体化して行うもの）を市の環境課主体で行う事となりました。なお、毎日新聞社様が、このことを6月14日の朝刊で大きく掲載して下さいました。心より御礼申し上げます。

城西ヶ丘にお住いの前田英子様のご自宅が、保護猫のシェルターとなっています。猫好きの方に里親になってもらいたく広報活動を続けておられますが、その存在は広がっていません。自由が丘にお住いの伊藤洋子さんたちと一緒にシェルターの存在と地域猫活動等の現状を知ってもらうため、赤間コミセンにて夏休み期間中に、赤間小学校の児童と保護者を対象に動物にも一つの命がある。命の大切さをテーマに子どもたちの情操教育として、講演会を開催することとなりました。（青少年育成部会主催、日高洋輔部会長）私は、伊藤さんが作られた、「さくら耳のみいちゃん」という絵本を議場で紹介し、市へ講演会開催への支援を求めました。飼い主のいない、さくら耳（手術を施した証拠として、桜の花びらのようにカットされた耳）のみいちゃん、飼われた猫のように一度でいいから飼い主に抱っこされてみたいと願います。願い叶わず交通事故で亡くなります。ところが、みいちゃんに

は、さくら耳になる前に三匹の子猫がいたのです。帰るはずのないお母さん猫を、三匹の子猫は待っています。私は朗読しながら議場で思わず涙が出そうになりました。

伊藤さんたちには、まだ話していなかったのですが、この物語を手作りの紙芝居にして子どもたちに読んで聞かせたらよいのではと提案しました。この絵本には、命の大切さや動物も含めた家族愛を教える力があると思いました。

前田さんは、「介護が必要となるまで、ずっといっしょプロジェクト」というのを立ち上げたいと思っておられます。頂いた保護猫を高齢になっても自宅でネコの世話ができる間は飼い続ける。お世話が困難になったらバトンを渡してもらおうプロジェクトです。行政へ、連携しながら協力して高齢者へチラシ配布（民生委員さんたち）のお願いができないか質問したところ、なんと、環境課所管の部長が回答しました。（私は地域猫、保護猫活動の支援は環境課だけではできない。市全体の支援が必要と再三環境課へは申ししていましたので面喰いました。）この事業は、民生委員さんや地域包括支援センターの協力なしにはできないと思っています。議員は市民の負託を受けて議場に立っていますので、配布までには至らないのかなと思いますと責任を感じました。つい最近、伊藤さんから日の里にお住いの二人暮らしの老夫婦の家で、最初2匹だけ飼っていた猫が、現在30匹以上になってしまった。また、もうすぐ生まれそうなメス猫が3～4匹いるとの連絡が入りました。行政では、飼い主責任との立場です。これは理解できます。殺処分は全国的に行わない方向との回答でした。また一つ、地域猫活動の皆様の課題ができたという事になります。であれば、そのような事態にならないように前田さんたちのプロジェクトは有効であり、行政は日の里のような事例に対処できないのですから支援しなくてはなりません。（私心ではありますが、今回の質問に対し、ことの重要さの

認識が乏しいような感覚を受けました。）今後、行政の支援の在り方をしっかり見守ってまいります。



こんなふうに私も抱っこされてみたかったな～
（さくら耳のみいちゃん）

項目2 すべての子どもの健やかな育ちが守られるまち「むなかた」

問 本市における「保育所等訪問支援」の標準利用日数・標準利用期間は。

部長回答 「全国児童発達支援協議会」が発行している手引書を参考に、標準利用日数については月2回まで、標準利用期間は半年以内としている。

※「保育所等訪問支援」とは、発達過程において特別な支援を必要とする子どもが保育所や幼稚園、学校などでの集団生活へ適応するために、専門性の高い支援員を派遣する事業。（日数や期間が決められているため、その後は加配の先生等が専門家から教わったスキルを身に付け子どもの療育に当たります。）

◎保育所や幼稚園では、医師の診断により認められれば、加配の先生を配置することができます。しかし、加配の先生は専門家ではなく、療育にとっても苦悩されている様子を私はそれぞれの園を訪問して見てきました。そこで、今年1月に「子ども家庭庁」へ行かれる国会議員の先生へ実情を書いた手紙を送り、支援の強化を求めました。

問 標準利用期間において、派遣された専門家が、保育士との信頼を築き、スキルを伝授するには

れましても同様の事であると思いますのでご理解いただけただけではないかと思ひます。

問

自分たちの所は自分たちで良くして行こうと、自治会の皆さんは日々頑張っておられます。そこらをお汲み取り頂き、項目内容の見直しと積算金額の積み上げを検討していただきたいと思ひますが、いかがでしょうか。

(この質問は、赤間地区コミュニティ運営協議会からの強い要望であります。市は広報誌の配布の可否については、コミュニティ単位と致しましたが、配布できない自治会が一つでもあれば、コミュニティとしては、配布しないという選択になるのではないかと思ひます。行政はここをしっかりと認識して欲しいと思ふところです。)

部長
回答

伊達議員から、多様な自治会活動の一端について具体的に説明を頂いた。自治会をはじめ地域の活動における負担軽減をどう行っていくかということが大きな問題になっている、市が依頼する業務についてはこの観点から見直していく必要がある。自治会の活動を支援できるよう、委託料の積算の在り方、併せてまちづくり交付金の在り方について、しっかりと検討していきたいと思ひます。

◎一般質問のきっかけは、石丸区の松元区長から広報誌の配布が民間委託となると、石丸は年間約40万円の減額となり厳しい、配布しなくなるので減額は承知している。しかし、委託料が十数年も見直しが行われていない。他の委託料の積算金額の見直しを何とかありませんかという相談がありました。石丸区は、住居実績がある世帯が約1,700世帯、住民票のある世帯が約1,000世帯ですが、自治会加入世帯は、現在231世帯しかありません。自治会での全世帯配布は不可能です。しかし、防犯一つをとっても人口の多いところは、それなりの防犯対策(防犯パトロールなど)も必要ですし、ポイ捨てごみも多くみられます。

まさのぶ さんぽみち 正信の散歩路

赤間小学校の中庭に芝生を植栽してからずいぶんと経ちましたが、雑草は誠に強く、みるみる芝生は雑草に覆いつくされていきました。4月から月に1回のペースで芝刈り(草刈り?)の作業をしていましたが、今年から2週間に1回のペースで草刈りを行いましたところ、なんと、芝の逆襲が始まりました。中庭の芝生化の目的は、地域の人たちと先生方の交わりを通して、子どもたちを地域の方々に育てていただきたいという想いからでありました。「風通しの良い学校の実現」(失礼とは思いますが当時はそのような想いでありました。現在は、小中一貫コミュニティスクールが始まり、学校・保護者・地域が一体となり子どもの成長に関わっていただいています。感謝!!)



赤間小学校、中庭の芝生

◆「だて正信通信」は、WEBサイトにて他の報告も加えて掲載しています。インターネットにて「伊達正信」で検索し、正信通信欄をクリックして下さい。

心豊かに生きるまち、宗像の創造

まさのぶ つうしん

だて正信通信

令和5年9月 vol.41

編集・発行

だて まさのぶ
宗像市議会議員 伊達 正信

〒811-4147

宗像市石丸2丁目5-15

携帯電話 090-1082-4641

F A X 0940-35-2922

E-mail: ganbari-kita@mx22.tiki.ne.jp

公式WEBサイト <http://datemasanobu.net/>



皆様こんにちは。残念なお知らせです。福岡教育大学敷地内に、令和7年度4月開校を目指していましたが、「県立特別支援学校」が、宗像市の担当する造成工事は滞りなく終了しましたが、県が建設する10月着工予定の新築工事入札が不調となりました。

(同時予定の福岡市早良区の特別支援学校も同様) 主な理由としては、原油価格の上昇などにより、コンクリート資材が急激に高騰したことや、職人不足により型枠工事などの公示価格が上昇したため、入札参加申込業者の積算価格が予定価格と乖離したためとしています。県としては、入札参加申込者からのヒアリング結果を踏まえ、直近の最新単価への入替や見積り再聴取などにより再積算を行うとしています。再入札による工事期間は、最短で令和6年6月定例県議会議決後、令和7年11月までと予定しています。(開校は未定です。)

令和5年9月議会報告

一般質問（8月28日）

項目1 持続可能な公共交通体系の実現を

◎この質問に関しましては、会派で話し合い私が代表して質問しました。内容につきましては、安部芳英議員が主体となって作成されたものです。

問 持続可能な公共交通体系の実現に向けて、これまで以上にスピード感のある具体的な施策の展開が必要ではないか、市長の考えは。

市長回答 地域公共交通の利用促進に取り組み、事業者を積極的に支援していきたい。ふれあいバスやコミュニティバスの再編、AI オンデマンドバス「のるーと」、グリーンスローモビリティ、EVバスなどの導入を検討するなど、交通事業者や民間企業、市民の皆様と3者が一体となって、持続可能な地域公共交通体系の構築に向けた施策を展開していく。

◎人手不足や不採算路線等、民間バス路線の廃止や高齢による免許証自主返納などの原因により、地域公共交通の再構築が望まれます。市では、「宗像市地域公共交通計画」を策定し、市民の利便性の向上に努めてまいります。

項目2 子どもが子どもでいられるまちに

※ヤングケアラーとは：年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負って、本来、大人が担うような家族の介護（障がい・病気・精神疾患のある保護者や祖父母への介護など）や世話（年下のきょうだいの世話など）をすることで、自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子ども

◎埼玉県白岡市で暴行を受けたとみられる男子中学生（2番目の長男）が死亡した事件がありました。この生徒は8人兄弟で、小学校4年生頃から下のきょうだいの面倒をみるため、不登校になったとの報道がありました。みんなで小さな魚を分け合って食べていたという記事に

涙が出ました。学校や行政機関でもこの生徒の生活状況は把握されていたとのこと。適切な支援があれば小さな命を救えたのかなと思いますと、口惜しさがにじみ出ます。

問 勉強や部活、友達とのたわいない会話等をする時間もなく、家事や家族の世話などに明け暮れる日々を送っているヤングケアラーと呼ばれる子どもが増加していると聞く。子どもが子どもらしく過ごせるよう、ヤングケアラーの問題について市ではどのような支援策を考えているのか。

部長回答 二つのポイントに重点を置いて取り組みを進めている。一つ目は、早期発見、早期対応です。二つ目は、認知度の向上です。

◎部長回答の中で、「子ども家庭センター」が中心となり学校や地域等から情報提供がなされた場合、スクールソーシャルワーカーや子ども家庭相談員が家庭訪問等を行い、状況の把握に努めているとのことでした。本市の「子ども家庭センター」は障がい児に関する事から様々な子どもの問題にすばやく取り組んでいて、私も高く評価している旨を議場で申し上げました。

問 福岡県が全市町村に対してヤングケアラーに関するアンケート調査を実施し、その結果を公表した。本市ではヤングケアラーの存在についてはどのような結果であったか。

部長回答 昨年度の調査時点では、ヤングケアラーとして把握するようなケースはなかった旨を県へ回答しています。

◎国の機関が調査したものによりますと、ヤングケアラーの約半数の家庭がネグレクト（育児放棄）状態にあるとしています。このような環境で育った子どもたちは、実情を誰かに発信するという事は難しいと思います。また、現在の不登校の実情を考えると、学校や地域の方の気づきが大切に思います。

項目3 自治会との契約を見直し、持続可能な自治会の支援を

問 自治会は市との間で〜〜〜支援して欲しいと考えるが、市の考えは。◎〜〜〜につきましては、三つ折りの一般質問通告書の「項目3」の所をご一読くださいませ。

部長回答 6項目の業務について市が自治会と委託契約を締結しています。委託契約業務のうち、市広報誌配布につきましては、将来のさらなる高齢化の進展を見据え、持続可能な自治会活動のための改革の一環として、令和5年度から業者によるポスティングに移行する改善策を提案したものであります。

地域のまちづくりは自治会が基盤となるものです。積算の見直しについては、社会情勢が当時とは大きく異なっています。自治会負担軽減のため、事業や組織の見直しなども含め、委託内容そのものと積算の見直しを検討し、持続可能な自治会活動を支援したいと考えています。

◎私は主に、石丸区の自治会加入者が行っている活動について、プロジェクターに映し出されるたくさんのボランティア活動の写真を紹介しながら部長へ説明しました。

例①：石丸区では自治会持続応援のため、女性によるボランティア組織（わかば会）を立ち上げられ、そのひとつとしてポイ捨てごみ拾い等をされています。

例②：七社宮の鎮守の森の保全やため池、道路等の整備などを行う男性組織の「七社会」を立ち上げられ活動中です。また、個人でも道路そばの草刈り等を長年されている方もおられます。まさに、自分たちの所は自分たちで良くして行こうという熱い想いの方々がいっぱいの自治会です。

石丸区の活動を紹介することにより、他の自治会におか

だて正信通信

令和5年12月 vol.42

編集・発行

だて まさのぶ
宗像市議会議員 伊達 正信

〒811-4147

宗像市石丸2丁目5-15

携帯電話 090-1082-4641

F A X 0940-35-2922

E-mail: ganbari-kita@mx22.tiki.ne.jp

公式WEBサイト <http://datemasanobu.net/>



新しい年の幕開け、いかがお過ごしでしょうか。今年も年男です。市民生活向上のため、さらに頑張ってみます。伊豆市長が12月に入り、ご入院なされました。市民の皆様方から心配の声を多数いただいているところです。一日も早いご回復を願うばかりです。

12月議会に「宗像市の小中学校給食費無償化を求める請願」が「学校給食費無償化を求める会」の松本年弘代表より、議会へ提出されました。総務常任委員会で審議がありましたが、今回の「だて正信通信」に詳しく掲載しています。また、高齢者肺炎球菌予防接種の自己負担額の件や、離島航路再編問題、漁村留学、甘夏ウニの陸上養殖等、盛りだくさん掲載いたしていますので、ご一読下されれば幸いです。

したりしていました。私には映画ドラマのようにその光景が映りました。宗像市では学校に來れない子どもたちのために、吉武地域に「自立サポートセンターホープ」という施設を設置し、多様な学びの場として期待されているところです。無理な質問とは思いましたが、地島の素晴らしい自然の中で、そのような子どもたちを育てられないかと思い質問しました。また、スポーツで子どもたちを育てるという試みとして、卓球はどうかとも提案しました。

部長回答

漁村留学の取組は、地元の地島校区漁村留学を育てる会というのがあり、この会が主体的に取り組んでいる形でございます。地元の皆さんが島外から子どもたちをお預かりするという事で、しっかりと育てていこうという意識が本当に強い取組でございます。したがって、募集をかけて応募があった子どもたちを面接しまして、選考するという形を取っているところでございます。先ほどの御紹介のありました不登校の関連の子どもたちについても、こういった地島、自然が豊かなところで生活をするということがなじむ部分もあるのではないかなと思っておりますので、こういった形で応募をしていただいて、先ほどの主体となる会のほうで面接をして、生活に適應できると判断されれば、そういう不登校ぎみの子であっても受け入れることができるのではないかと考えております。

問 島の子どもたちは高校進学の際に、親元を離れて暮らさないといけない場合がある。その場合、保護者は金銭的な負担が多く、子どもにとっては島や家族と離れることによる精神的な負担がある。島の人口が減っていく中で、子どもが進学のタイミングで家族ごと島から移住する場合もあると思われる。

島の方から、たつての要望といたしますか提案がありました。大島発20時30分、神湊発21時を自主運航として、平日の海上タクシーの定期便を設定し、その中で運賃の公的支援があれば、島からの通勤・高校通学や、反対に本土からの市の職員をはじめ通勤も可能となる。この時間ですと東郷駅からのバスもあり、部活動もできる。いろんな課題があるとは思いますが、これがもし実現したら、大きな大島の活性化につながると思うので、検討していただけないか。

部長回答

島から通学することができれば、家族を含めた住まい方の選択肢が広がるという可能性はあるかと思っております。そういうところで考えますと、そういう帰り便の海上タクシーに関する支援だけでそれが成り立つのかというところも含めまして、地域のほうのニーズを聞きながら検討をしていければと思っております。

◎その他にも離島振興について、たくさん質問しました。その中で、地島の漁村留学について質問しましたが、地島小学校は、就学前の子どもが2歳児から4歳児まで0人となっていて、学校の維持が心配です。以前、地島の漁村留学の様子がテレビ放送されていました。他の自治体から來た子どもたちが、実に明るく楽しく遊んだり勉強

◆「だて正信通信」は、WEBサイトにて他の報告も加えて掲載しています。インターネットにて「伊達正信」で検索し、正信通信欄をクリックして下さい。

令和5年12月議会報告

一般質問（12月5日）

項目1 高齢者の肺炎球菌予防接種について

◎この件は、赤間地区、石丸区の佐々木さんから肺炎球菌予防接種の自己負担金が宗像市と福津市は他の自治体に比べ特段に高い、何とかありませんかね。と、電話があり、一般質問となりました。

問 高齢者の肺炎球菌予防接種の公費負担額が、他の市町村と比較して低い。接種率向上のためにも公費負担額の増額ができないか。

部長回答 議員ご指摘の通り、公費負担額は、県内市町村では低い状況です。今後の接種率向上に向け、近隣市町村の状況も鑑みつつ、宗像医師会や福津市と協議し、公費負担の増額について検討してまいります。

◎福岡県全部の市町村を調べましたところ、なるほど宗像市と福津市（広域連携）は特段に高くなっていました。よく気づかれたなあ〜が私の感想でした。現在、宗像市は自己負担額が5,680円です。古賀市と粕屋郡が4千円ですので、このへんに変更頂けるのではないかと考えています。肺炎で死亡される方の約98%が高齢者で、その内、約3分の1が肺炎球菌によるものだそうです。1回の接種で一生効き目があると言われていたもので、まだの方は是非接種されることをお勧めいたします。65歳から5年ごとの中で、接種できます。

項目2 離島振興と諸課題について

問 航路再編については、「宗像市航路改善協議会」での審議をはじめ、行政による令和2年に行われた島民説明会を経て、大島地区コミュニティ運営協議会をはじめ、多くの団体を交えた話し合いの場が設けられたと聞く。航路再編の進捗状況は。

副市長回答

今後の渡船事業の改善に当たっては、島民の方々にできる限り御理解をいただきながら、持続可能な航路運営を目指す必要があると考えております。そのため、大島では島内各団体の代表者との協議を令和3年度に4回、4年度に3回、今年度は現段階で2回と継続して行っております。また、地島でも、島内組織の代表者等で構成される元気な島・地島づくり協議会の場や、区長などへ臨時状況を説明しているところがございます。協議をする中で、大島では特に船舶の数に関する不安、懸念が強くなりましたので、他の離島航路で就航している船舶の情報を共有しながら、今後考えられる様々な方策を検討、協議、提案しているところがございます。

今後も島民の方々に丁寧に説明しながら、理解をできる限りいただき、持続可能な航路運営の実現に向けて、できる限りの努力を行ってまいります。

◎このことにつきましては、行政は丁寧に島民の皆様にご説明されている様子を感じることができました。相手の側に立って考えることが大切ですね。

執行部としては、議場では話せないこともあります。議場外のやり取りの中で、小型船舶導入については、専門の造船所とのヒアリングや小型船舶が就航している他航路の視察等、1年かけて調査・検討されたようですが、知床沖の海難事故もあり、冬の時化が厳しい玄海灘では安全運航の面から困難とのことでした。そこで、同じ離島航路を要する県内の4つの市・町と突発的な事態に備え、代替え船について意見交換を行い、「共通予備船」について、ただ今県を交え、調査研究を行っているとのことでした。これからも熱い思いを持って頑張りたいと思います。

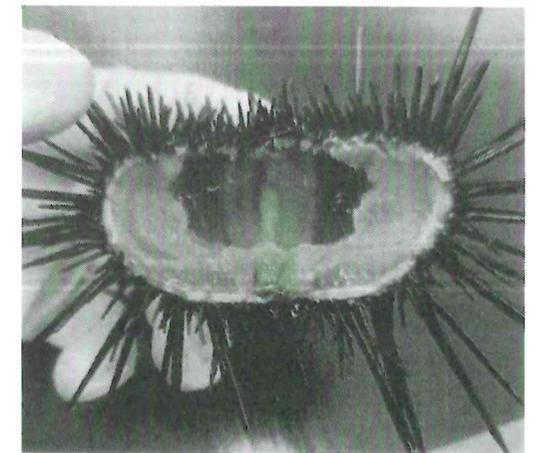
問

漁協代表理事の田志覚さん等がアワビ中間育成場の非稼働時に藻場の回復を妨げるムラサキウニを短期養殖し、甘夏ウニとして新たな商品開発を行っている。市の支援策は。

部長回答

宗像漁協大島支所では今年度、色が悪く身がつかないウニを活用して、回答 県の海洋技術センターの指導・助言を受けて、養殖にチャレンジしています。御指摘の藻場の回復にもつながるものと思っています。

来年度は養殖規模を拡大したいと伺っております。こういった取組につきましては、離島における漁業振興、観光の活性化につながることを期待できますので、様々な側面から支援を行っていきたいと考えています。



甘夏給餌直前の身入り(R5.5.25)

◎ウニが海藻を食べるので、イカ等、卵を産み付ける場所がなくなり漁獲高が減少しています。田志さんたちは、ウニの餌に大島特産の甘夏ミカンの皮を利用する実験をされました。柑橘系の香りがすると好評だったそうです。県の「農林水産委員長」の大役についておられる井上正文県議会議員へ甘夏ウニの調査を依頼しましたところ、陸上施設に加え、海上での養殖試験も含め、田志代表理事と水産海洋技術センターによる協議の場を設けるとのことでした。県（水産局）としても、大島の特産品となる可能性がある甘夏ウニの養殖について、漁協・漁業者とともに実現させていきたいと、力強いメールを頂きました。

一般質問通告書

宗像市議会議長 様

宗像市議会議員（15）番 伊達 正信

以下のとおり通告します。

発言順	17	受領日時	令和5年5月30日 8時43分
項目1	：地域猫活動の推進と、その支援施策について		
テロップ	：地域猫活動の推進について		
<p>本市でも、猫によるふん尿被害、繁殖等に関する相談や動物愛護の活動団体から組織への支援を望む声を聞く。福岡県では、「ワンヘルスの推進」を掲げ、人と動物の健康と環境の健全性を一つの健康と捉え、一体的に守ろうとする考え方に基つき、全国初となる「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、「福岡県ワンヘルス推進行動計画」を策定した。本市議会でも、令和3年12月議会において、「ワンヘルスの推進に関する決議」を可決した。このような状況を踏まえ、市としても、地域猫活動への理解促進とより充実した支援が必要であると考え、以下質問する。</p> <p>(1) 地域猫活動は、捕獲し、不妊去勢手術を施し、捕獲した場所へ戻した後、地域で猫一代の命を見守る活動と理解している。野良猫の問題に関する行政の課題意識と、これまでの支援施策を伺う。</p> <p>(2) 地域住民や活動団体による「地域猫活動」に対して市民の理解を得ることが重要と考えるが、広報による啓発などの支援ができないか。</p> <p>(3) 不妊去勢手術を施した猫については、その後、地域での一定のルールに基づいた餌やりやふん尿の管理等が必要となる。しかし、県や市から不妊去勢手術の経費の補助はあるものの、その後の餌やり等の必要経費は地域住民や活動団体が賄っているのが現状である。本市は、不妊去勢手術や地域猫活動の推進に必要な経費の一部確保のため、ガバメントクラウドファンディングを立ち上げたと聞くが、その後の経過を伺う。</p>			
項目2	：すべての子どもの健やかな育ちが守られるまち「むなかた」		
テロップ	：子どもの健やかな育ちを願って		
<p>厚生労働省は、「保育所等訪問支援の効果的な実施を図るための手引書」を作成し、保育所等訪問支援の推進に積極的に取り組むこととしており、その手引書には、保育所等訪問支援はインクルージョン（地域社会への参加・包容）の実現が目的であると記載されている。本市においては、「第4期宗像市幼児教育振興プログラム（令和4年度～令和8年度）」の中で、「配慮が必要な子どもに関する専門機関の活用の促進」を基本施策の一つとしている。</p> <p>また、「宗像市学校教育基本計画」においても、特別支援教育について、特別支援学級や通級指導教室だけでなく、通常学級においても、特別な配慮を要する児童生徒が増加していることから、「特別な配慮や支援が必要な児童生徒の増加、インクルーシブ教育の推進を受け、今後は教育環境の整備や教育内容について一層の工夫・改善が必要」と、現状と課題を示している。また、令和5年度施政方針にも「誰もが健やかに成長できる教育・子育て環境の実現を目指す」と記し、教育・子育て支援に取り組んでいる現状を踏まえ、以下質問する。</p> <p>(1) 保育所等訪問支援について</p> <p>①本市における「保育所等訪問支援」の評価と方針について伺う。</p> <p>②本市における「保育所等訪問支援」の標準利用日数・標準利用期間は。</p> <p>③「保育所等訪問支援」に関わる施設・事業所・行政との連携の必要性をどのように認識しているのか。また、連携の現状は。</p> <p>(2) 子どもの自立サポートセンター「ホープ」について</p> <p>①問合せ件数と入室人数は。</p> <p>②ホープを設置するに至った経緯は。</p>			

今回は、総務常任委員会（私の所属委員会）と予算委員会（補正）は開催されませんでした。

◆昨年の12月議会の一般質問で取り上げていました、学童保育所の指導員の12月29日の休所願いにつきましては、今年から休所することとなりました。利用されておられたご家庭におかれましては、大変申し訳なく思っています。宗像市は県下で最も開所日の多い自治体でありましたので、指導員さんの働き方改革という事でご理解いただきたいと思います。（保育所も市役所も29日からお休みとなっています。）

◆赤間地区徳重にある、徳重公園を通りかかりましたところ、高齢者用の遊具がいくつもありました。私は「背伸ばしベンチ」の健康遊具がお気に入りです。座って使用しますと、背中がとてもよく伸びます。反対側に回り、立って使用しますと、腰が良く伸びます。皆様も散歩の途中で身近な公園にある高齢者向けの健康遊具を利用されてみられてはいかがでしょうか。（この健康遊具につきましては、平成28年12月議会で、私が公園に高齢者向け健康遊具の設置を一般質問でお願いしたのをきっかけに、市が順次設置して下さったものです。）

◆近ごろテレビ等で若者たちの常軌を逸した犯罪が頻繁に放映されています。私の目には、未熟なまま社会へ飛び出した若者たちの悲劇に映ります。

世界では、子どもたちが、その日の食事にも事欠く紛争地域の様子が映し出されています。

社会の中で、人と和して働くことの大切さを、子どもたちはしっかりと身に付けなければいけません。そのためには、先ず「家庭愛和」が何より大切だと思います。学級崩壊もいじめも非行化もすべて家庭生活の歪みに端を発していると私は、思っています。私は、最初に市議会議員選挙に出馬したときに、家内に頼んでのぼり旗に「子どもの前では、夫婦喧嘩はしない」と書いてもらい、毎朝駅立ちしました。

私が市議会議員を目指したのは、人と対峙することができない子どもの存在があり、学校に辛い思いをしながら通っている子どもたちを何とかしたいという思いからでありました。（当時テレビ等で頻繁に流される、子どものいじめによる自殺等の放映を見て）

私は昭和27年生まれですが、子どもを取り巻く環境は、ずいぶんと変わりました。今の時代こそ保護者が子どもの声に耳を傾け、必要ならば体を張り、親の深い愛情を見せる時代だと感じます。何かありましたらご一報いただければと思います。

一般質問通告書

宗像市議会議長 様

宗像市議会議員（15）番 伊達 正信

以下のとおり通告します。

発言順	1	受領日時	令和5年7月25日 8時30分
項目1	持続可能な公共交通体系の実現を		
テロップ	持続可能な公共交通体系の実現を		
	<p>地域の関係者の連携・協働（共創）を通じ、利便性・持続可能性・生産性の高い地域公共交通ネットワークへの「リ・デザイン」（再構築）を進めるための「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」が、本年4月に公布され、それに合わせて本年7月には政令の整備が行われた。今回の改正では、地域の関係者の連携と協働の促進として国の努力義務や地域公共交通計画への記載を促すことなどが追加された。その背景として、人口減少の本格化、運転手不足の深刻化に伴って、公共交通サービスの維持・確保が厳しさを増している中、高齢者の運転免許証の返納が年々増加するなど、地域の暮らしと産業を支える移動手段を確保することがますます重要になってきていることが挙げられる。</p> <p>本市においても、運転手不足によってバス路線の維持が困難になることや、タクシー等深夜の交通手段の確保が困難になることが懸念されており、今後の移動手段の確保が課題となってきている。一方で、高齢者の運転免許証の自主返納により自家用車から公共交通へ移動手段を転換する市民が増えるなど、様々なギャップ・課題が生じている状況がある。宗像志政クラブでも、これまで国や県とのパイプを生かし、関係機関に要望活動等を行ってきたが、前述のとおり国の動向や地域の切迫感を踏まえると、持続可能な公共交通体系の実現に向けて、これまで以上にスピード感のある具体的な施策の展開が必要ではないかと考えるが、市長の考えは。</p>		
項目2	子どもが子どもでいられるまちに		
テロップ	子どもが子どもでいられるまちに		
	<p>近年、勉強や部活、友達とのたわいない会話等をする時間もなく、家事や家族の世話などに明け暮れる日々を送っているヤングケアラーと呼ばれる子どもが増加している。子どもが子どもらしく過ごせるよう、ヤングケアラーの問題について市ではどのような支援策を考えているか。</p>		
項目3	自治会との契約を見直し、持続可能な自治会の支援を		
テロップ	持続可能な自治会の支援を		
	<p>自治会は市との間で「行政事務連絡調整業務委託契約」を締結し、市広報紙等の配布及び回覧、改善提案書の取りまとめ、市事業等の連絡調整や安全・安心のまちづくりへの協力等について、世帯数に応じた委託料で受託している。</p> <p>今回、市は行政サービスの公平性等の観点から市広報紙の全戸配布を目指し、自治会による全戸配布業者によるポスティングに移行するかを各地区コミュニティの選択制とし、業者によるポスティングを選択した地区からは、自治会受託の委託料のうち市広報紙配布等に係る費用分を令和6年度から減額することとした。</p> <p>行政事務連絡調整業務委託料の積算については、数十年見直しが行われていないと思うが、自治会では、自然災害、交通安全、犯罪抑止など安心・安全を揺るがす困難な課題への対応が年々増加している。そのような中、高齢化が進んでも懸命に取り組んでいる自治会もあるため、積算の見直しを行い、積極的に頑張る自治会が活動を継続できるように支援してほしいと考えるが、市の考えは。</p>		

予算・決算第1特別委員会

◆補正

■学校給食公会計管理運営費が約1千百万円減額されました。国が「こども未来戦略方針」の中で学校給食費無償化に向けた方策を検討することになったため、公会計システム構築を一時ストップするためです。無償化になるとよいですね。

(現在、給食費は先生が徴収しています。先生方の働き方改革もあり、市が徴収するように改める計画でした。)

■漁港整備事業費 高度衛生管理型荷さばき所に太陽光設備設置のため、調査費が盛り込まれました。

■農業振興事業費・水産業振興事業費 燃油高騰のため、補助金による支援です。その他にも物価高騰対策のため、高齢者施設、障害福祉サービス事業所、保育所等へも補助金による支援を行います。

■病児病後児保育の無償化等により、利用者が増加しています。約4千8百万円の補正。片山医院様の病児保育施設「めばえ」の利用者が急増しており、令和4年度は延べ人数が千人を超えました。本年5月から片山医院様の「めばえ陽庵」が新しく開室しました。このままですと、医師をはじめ看護師さん等が疲弊されるのではないかと心配します。節度ある利用を切にお願い申し上げます。

予算・決算第2特別委員会

(私の所属している委員会です。メンバーは第1特別委員会と1年交代制です。)

■以下、私の発言した主なものを、要約しています。

◎「介護給付費準備基金」が年々増加してきていて、13億2千7百万円に達しています。私は、次の介護納付金分改正時にこの基金を取り崩せないか質問しましたところ、執行部から検討する旨の回答がありました。いざという時の備えは必要ではありますが、準備金は積み増していけばよいというものではないと思います。余剰金は被保険者に還元すべきです。

◎下水道管理設から古いものと、50数年が経過しました。私たちが意識せずに使用している、台所やお風呂の排水、また、トイレでの排水等下水道は大変便利ではありますが、全国で下水道の老朽化が問題となっています。

■第53号議案 令和4年度宗像市下水道事業会計決算認定について

◆討論：下水道管の老朽化対策は、財源確保等、難しい所であるが、例えば千葉県、柏市では改築工事を中心とした「包括民間委託」を開始し、道路を掘らずに「管更生工法」を用い、新しい下水道管を造るという、事後保全型から予防保全型で下水道を管理している。財政規模がかなり違うので、本市では無理な点もあるかとは思いますが、視察等を行い、他の自治体の例も参考し、便利で安心・安全な下水道の維持管理をお願い致して賛成とする。

総務常任委員会

請願第1号 宗像市の小中学校給食費無償化を求める請願

今回、議会に対し上記内容の請願が、「学校給食費無償化を求める会」の松本年弘代表者より総務常任委員会へ提出されました。

賛同会派：日本維新の会・公明党・日本共産党・未来むなかた

今回の請願は令和6年10月の市議会議員選挙の事を念頭に置きますと、正直、私も会派も動揺しました。しかし、財政基盤を揺るがしかねない今回の請願に賛成することは、市の財政に責任がある保守系最大会派としましては、無責任との結論に達し、反対としました。ところが、当初松本代表とお会いした時の請願の文章とは大幅に変更された請願が提出され、総務常任委員会での質疑に対し、紹介議員の応答に松本代表の真意を見いだすことができず、乖離を大きく感じる事となりました。今回は、請願提出ではなく、一般質問での提案で良かったのかなと思った次第です。

私ども会派の石松修議員から、愛知県犬山市の給食費の事が中日新聞に掲載されているという情報がもたらされました。犬山市では、小学6年生と中学3年生、それから第3子以降は無料としていましたが、食材の高騰によって給食費の値上げを発表しました。無料とする学年がある一方で、無料でない学年の給食費値上げに違和感を覚えます。ちなみに、本市の学校給食費は材料費のみ負担となっており、保護者負担が、小学校で1食250円、中学校で1食310円です。物価高騰分は、市が補填しています。また就学援助として、経済的に厳しいご家庭は無料としています。第3子以降の給食費の支援は、個人としては市へ今後一般質問等で、提案しても良いのかなと思うところです。結局、犬山市は、小学校1食320円、中学校1食380円とするとの事です。一度無償化すれば、後戻りはできないのかなと、犬山市の現実を見て、そのように思いました。総務常任委員会で討論した私の発言を記載していますので、ご一読いただければと思います。

請願：学校給食費無償化を求める請願に反対の立場で一言意見申し上げます。

市政とは、財源をどのように活かすか、という事になろうかと思えます。財源確保について安定的な根拠が明確に提示されていないこと、国の無償化の実現の可能性の見通しもまだ不明確な状況で、市単独の財源を投入し続けるのは無理がある。今回の事に関連して、教育・子育て関係の事業を上げてみますと、他の自治体に先駆けて市は、児童・生徒に一人1台のタブレットを配置しました。もうすぐタブレット更新の時期を迎えます。また、他に類を見ない充実した学力向上支援教員の配置、さらには、子ども大学開催や小中一貫コミュニティスクールの実現。それから保育所の待機児童解消のため、河東西保育所の新設や分園方式による3か所の保育所の開園、城山中学校の建て替え、上げたらきりが無いほどの人材配置や施設整備等を行ってまいりました。また、市民の要望に答えきれていない事業も多くあります。例えば赤間地区コミュニティ運営協議会からの要望として、学童保育所の老朽化による建て替え時期問題や、近年、学校登下校の際の子どもたちの安全が脅かされています。通学道路の安全整備や防犯の強化は急務です。 ◆裏面に続く

これからは、体育館の空調設備整備（普通教室は整備済）も行う予定になっています。もちろん教育、子育てに限らず様々な分野で財政行為は、なされております。

高齢者支援という視点に立てば、近年の日本の夏の暑さにより、エアコンなしには真夏の夜は過ごせない方も多いのではと思います。収入は年金のみでお暮らしの高齢者はどのようにして、蒸し暑い夜をお過ごしなのでしょう。以前一般質問で高齢者の電気代の補助をお願いしましたが、ままなりませんでした。

あるおばあさんが私に言われたのを今でも忘れません。私たちは年老いて先がないから、子どもたちの事に頑張ってくださいと言われ、絶句いたしました。

毎年5億円もの財源が必要な、今回の学校給食費の無償化を、今を生きなければならぬ、そのような方々はどのような想いで聞くことになるのでしょうか。

私は保守系の市議会議員として、市の財政には責任を持たなければならないと強い思いがあります。その考えの上に立つと安定した財政基盤の上こそ、宗像市の未来があると考えます。

今回の学校給食費無償化を求める運動につきましては、PTA組織への理解の求め方等、進め方に疑問を感じます。

学校給食費の無償化は、国にお考えいただく問題だと思っています。本市は、24、5年前、他の自治体に誇れる「自校式学校給食」を実現しました。私たちが考えなければならないことは、地産地消を始め、さらなる、安心・安全な質の高い学校給食を提供しつつ、子どもたちに毎日の食事に感謝の気持ち等を育ませることだと思います。いたずらに、地方自治体間の競争をあおり、財政基盤を揺るがしかねない学校給食費の無償化の請願には、毅然として、反対致します。

◆最終本会議（12月21日）では、賛成7票、反対11票、賛成少数で原案は否決されました。無償化は、質の低下を招くと言われる方もおられます。

まさのぶ さんぽみち 正信の散歩路

朝の交通誘導の中で、子どもたちと色々な出会いがありますが、以前から一人の女の子が信号機のない側の横断歩道を渡りながら、親指を突き上げて“ぐー”サインを出して挨拶をします。私もぐーと言って返します。今日（12月13日）その子が、親指と人差し指を交えて突き出しました。私も慌てて女の子の真似をしたんですが、こうするのよと注意を受けました。どうやら、今はやりのハートマークのようです。このまま、すくすくと育てて欲しいなと思いました。挨拶のできない子が結構多いように思います。ご家庭でのご指導をお願い致します。

余計なことかもしれませんが、子どもには幼児のころからお手伝いを親と一緒にする習慣を身に付けさせたら、成長の過程で良い方向へと向かうのかなと思っています。例えば、洗濯物をたたむとき、タオルを二つ折りにする手伝いとかからでも効果があるように思います。

(様式3)

政務活動費旅費計算書

《調査研究費の旅費請求に使用する》

請求者氏名	伊達 正信	用 件	①団地再生・公共交通について 学校給食無償化の検討と展望について ②農林水産について ③労働局との雇用対策協定について 放課後等デイサービス、ひとり親家庭等への支援策について
日 程	1月17日 ~ 1月19日 (3日間)		
用 務 地	① 衆議院会館 ② 衆議院会館 ③ 衆議院会館		
交通手段	■公共交通機関 □私用車 □その他		
パック料金	航空券代+ホテル代 (2泊2食)		69,800 円
控除額	朝食代 (@900) × 2		-1,800 円
鉄道賃	東郷 ~ 福岡空港 (往復)		1,660 円
鉄道賃	羽田空港 ~ 永田町		660 円
鉄道賃	永田町 ~ 東銀座		180 円
鉄道賃	東銀座 ~ 永田町 (往復)		360 円
鉄道賃	東銀座 ~ 永田町		180 円
鉄道賃	永田町 ~ 羽田空港		660 円
車賃	車走行距離 キロ × 37 円		円
合計			71,700 円

※航空券+宿泊代をパック料金として計上

※パックには朝食2回が付いていたので、その食事代を控除する

1. 宗像市職員旅費運用による。
2. 請求者氏名、日程、用務地、用件、交通手段に必要事項を記入し事務局へ提出する。

2024/1/16

宗像市議会 宗像志政クラブ 様

ラド観光株式会社 福岡支店
 観光庁長官登録第一種旅行業第1650号
 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-10-24
 博多駅前藤井ビル2階
 TEL (092) 432-1860
 FAX (092) 432-1908

□方面	東京
□期間	2024年1月17日(水)~19日(金)
□人員	8名

この度は、見積書提出の機会を賜り厚く御礼申し上げます。
 御見積を下記のように提出致しますので、よろしくお願い申し上げます。

種別	区間	運賃(料金含む)	人員台数	小計	地名・施設名	料金	人員	小計
交通費	航空券+宿泊(2泊2朝付)	福岡=羽田(往復)	69,800	8	558,400			0
		都内(2泊2朝付)			0			0
					0			0
					0			0
					0			0
					0			0
					0			0
交通費計(A)					558,400	拝観入場料計(D)		
宿泊費	月/日()	旅館・ホテル名	条件	料金	人員	小計	その他費用	
	1/17(水)	ホテルグレイスリー銀座	1泊朝食付・1名一室 (セット料金を含む)	0	8	0	国内旅行傷害保険	500
	1/18(木)	ホテルグレイスリー銀座	1泊朝食付・1名一室 (セット料金を含む)	0	8	0	有料道路・駐車場(概算)	0
						0	添乗員経費(同行しません)	0
						0	乗務員昼食代	0
宿泊費計(B)					0	取扱手数料		
						500		
						8		
						4,000		
						8,000		
食事・弁当	月/日()	場所・施設名	内容	料金	人員	小計	その他費用計(E)	
	1/17(水)~1/19(金)	昼食3回・夕食2回	各自で	0	8	0	上記代金は、見積作成日現在で計算されておりますので、運賃料金改定の場合には変更させて頂く場合がございます。	
						0	ご参加人員が変更された場合には、代金を改定させて頂く場合がございます。	
						0	交通費及び参観・入場料は、2022年 11月 15日現在の運賃料金を基礎としております。	
	食事・弁当代計(C)					0	お一人様旅行代金 (8 名様あたり)	
						¥70,800		
						ご旅行代金総額 (A+B+C+D+E)		
						¥566,400		

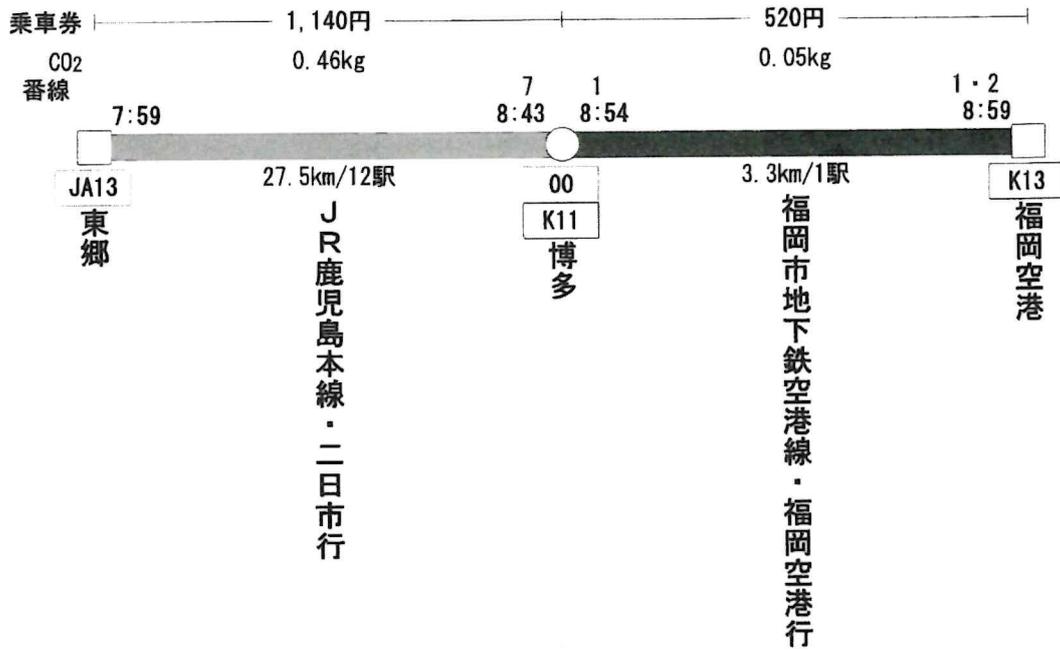
東郷 → 福岡空港

探索順 第1/5経路

出発日 2024年 1月17日(水)
所要時間 1時間 (乗車49分 他11分)
往復金額 1,660円

乗り換え 1回 距離 30.8km

CO₂排出量 0.52kg (🚗 4.0kg)



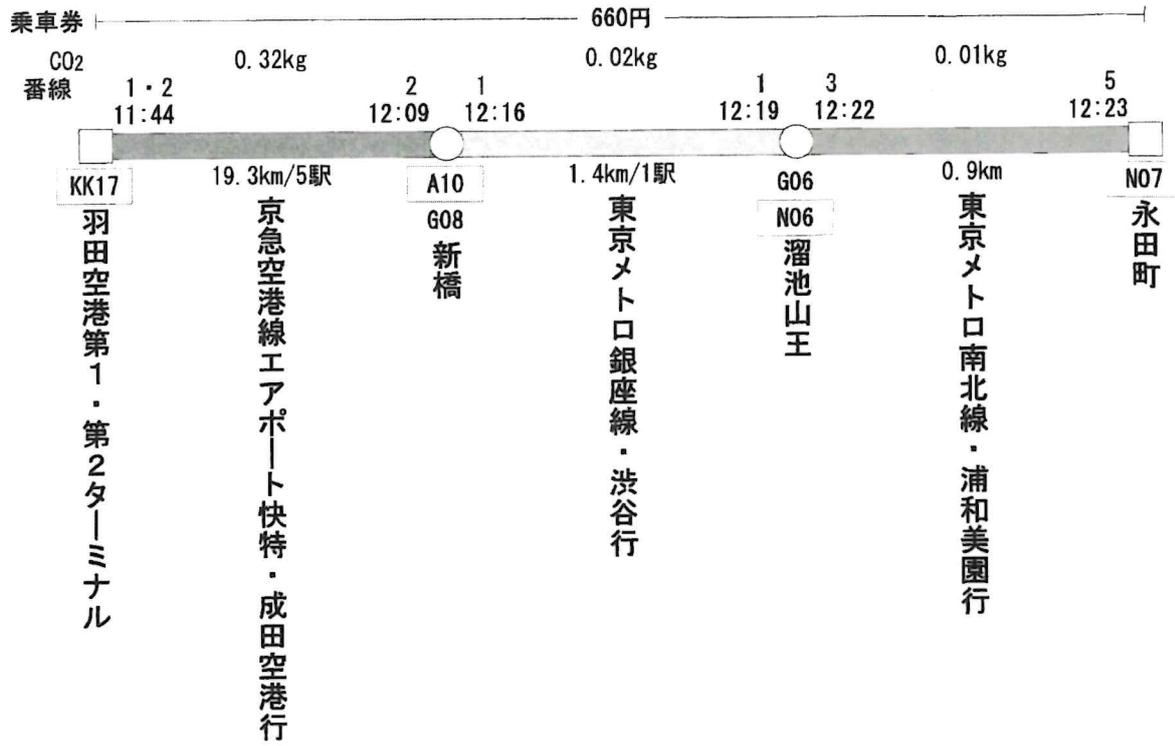
羽田空港第1・第2ターミナル → 永田町

探索順 第1/5経路

出発日 2024年 1月17日(水)
所要時間 39分 (乗車29分 他10分)
片道金額 660円

乗り換え 2回 距離 21.6km

CO₂排出量 0.36kg (🚗 2.8kg)



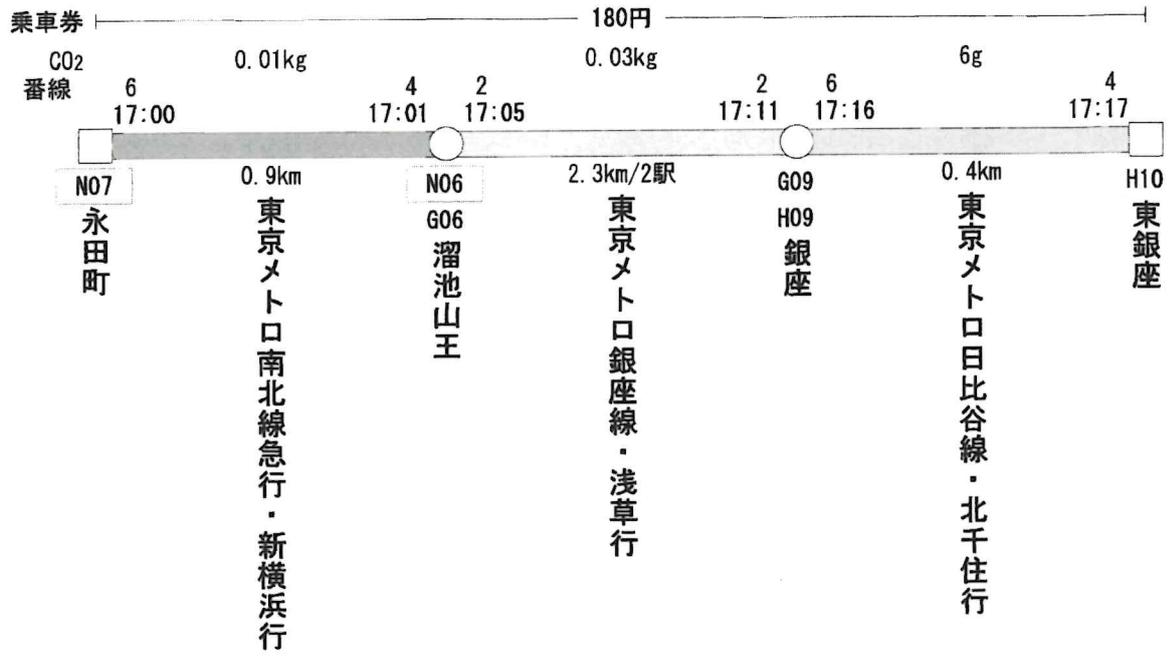
永田町 → 東銀座

探索順 第4/5経路

出発日 2024年 1月17日(水)
所要時間 17分 (乗車8分 他9分)
片道金額 180円

乗り換え 2回 距離 3.6km

CO₂排出量 0.06kg (🚗 0.46kg)



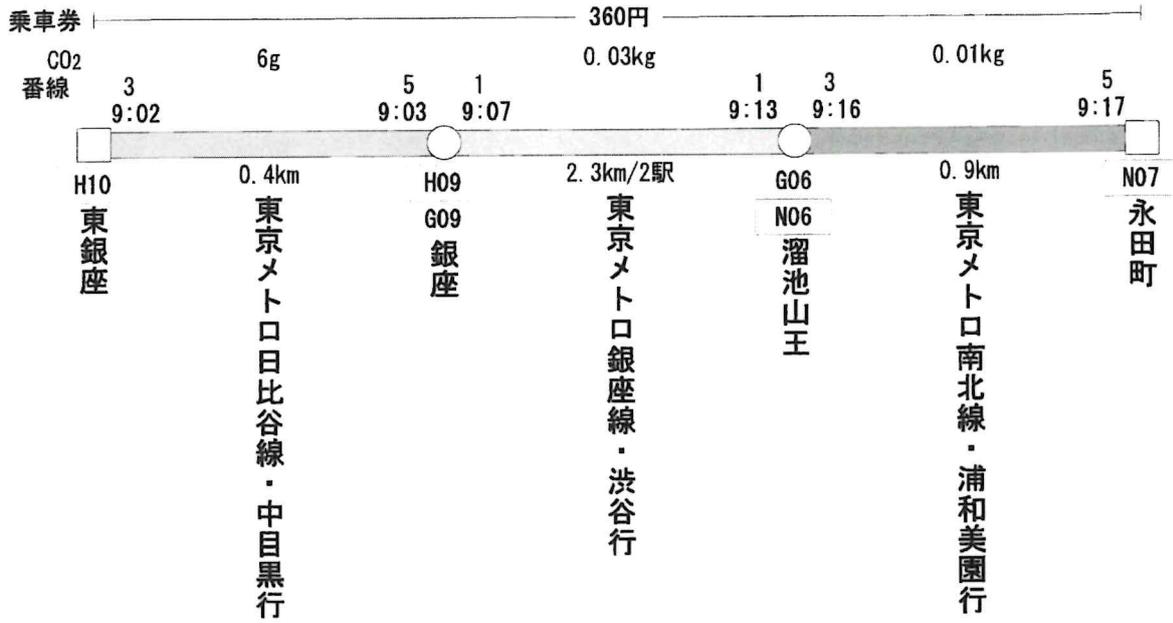
東銀座 → 永田町

探索順 第2/5経路

出発日 2024年 1月18日(木)
所要時間 15分 (乗車8分 他7分)
往復金額 360円

乗り換え 2回 距離 3.6km

CO₂排出量 0.06kg (🚗 0.46kg)



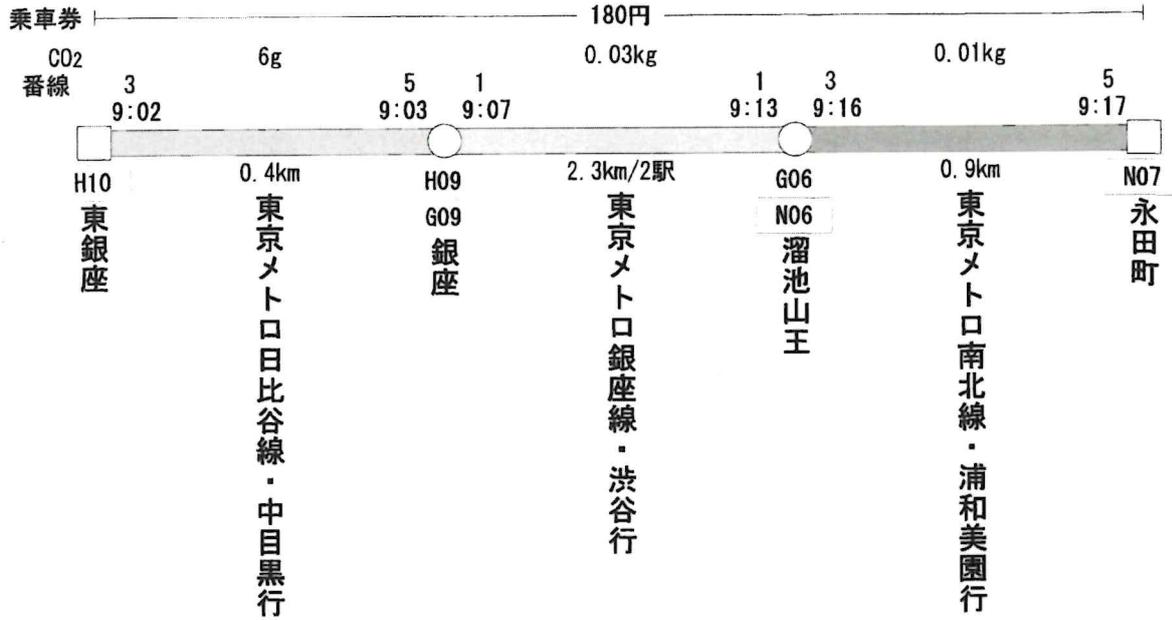
東銀座 → 永田町

探索順 第2/5経路

出発日 2024年 1月19日(金)
所要時間 15分 (乗車8分 他7分)
片道金額 180円

乗り換え 2回 距離 3.6km

CO₂排出量 0.06kg (🚗 0.46kg)



様式2

	<p>(1) 意義、現状と目標</p> <p>(2) 福井県永平寺町無人運転移動サービス</p> <p>(3) 政府の推進体制</p> <p>(4) レベル4に向けた技術・安全対策</p> <p>2. 「高齢者免許返納対策」について（旅客課）より 高齢者に対する公共交通を利用する際の割引を行う地方公共団体に支援を行う</p> <p>3. 「JR等への私鉄支援策」について（鉄道サービス政策室）より 利用者の声を踏まえて、利便性確保できるように働きかける</p>
<p>所 感</p>	<p>◆団地再生について</p> <p>ひのさと48については、診療所や保養施設等の整備が進むことを期待したが、国土交通省の担当官の話を伺うと、これ以上の広がりはないのかなと感じた。日の里団地において、5階建ての賃貸住宅については、数棟エレベーターが新設されたところがあるが、現在の高齢化が進む社会においては、5階建ての場合、エレベーターは必須であると考え。また、3階以上に新たに住まれる方には家賃割引などの優遇をすることにより、若者たちの入居に繋がるのでは。関東圏では、ペットとの共生社会が進んでおり、UR団地においても、ペットと暮らせる設備が整った賃貸住宅があり、家賃、敷金、共益費ともペットを飼わない人も飼う人も同じ金額設定となっている。九州ではURにおいてはそのような施設はないとのことだったが、建て替えの際は先行事例としてお願いしたい。</p> <p>宗像市の一戸建ての住宅の場合、大型の日の里団地や、自由ヶ丘団地に限らず、新築から数十年がたった団地においては、改築や建て替えが進み新住人の移入が多く見受けられるので、一戸建ての空家は民力に任せ、行政は支援施策として、更地への助成金や改築の助成金等を厚遇するのが良いか考える。また、現在住んでいる高齢者宅に将来、持ち家をどのようになさるのか、アンケート調査を実施し将来目的のない空家を防ぐことが大切と考える。</p> <p>◆公共交通について</p> <p>公的機関の実証実験においての自動運転については、ゴルフ場の決められたコースに沿って走行するカート程度のイメージであった。民力に任せの方が良いのではと思う。</p> <p>本市が日の里団地で展開しているオンデマンドバス「のるーと」は考え次第では、公共交通のない高齢者の住む地域にとっては、ドア to ドアの切り札になり得ると考える。行政職におかれては、全力で知恵を絞っていただきたい。</p>

様式2

	<p>②自治体により設置者と保護者の間で負担の在り方が異なること これらの観点を踏まえ、書面調査を実施するとともに、調査結果を踏まえた上で、自治体等からのヒアリング等を実施する。</p> <p>4.成果や課題の把握</p> <p>(1) 取り組み実態の調査</p> <p>①支援対象・要件、支援方法</p> <p>②実施主体・財源</p> <p>③ヒアリングなどを通じて実施スキームに応じた成果・課題を把握</p>
所 感	<p>◆学校給食について</p> <p>政府の掲げる「異次元の少子化対策」により、多くの分野で補助金や無償化等が進められている。近年、結婚しない若者が増加しているが、無償化等とは無関係なものと捉える。保護者の倫理に基づく、しっかりとした、幼児期からの養育が大切であり、家庭愛和がその根幹をなすと考える。その考え方にに基づき、しっかりとした子育て環境を整えるため、人の育成や設備の充実等を優先させることが大切であると考える。その視点に立てば、市の財政を揺るがしかねない学校給食無償化の是非は、少子化対策とは無関係に思う。</p>

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 伊達正信

項目	<input type="checkbox"/> 1研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2調査研究費 <input type="checkbox"/> 3広報及び公聴費		
名称	農林水産について		
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他()		
日程	令和 6 年 1 月 18日(木) ～ 令和 6 年 1 月 18日(木)		
時間	14:30 ～ 15:40	場所	衆議院第一議員会館
概要	<p>1 みどりの食料システム戦略について農林水産省（農産局環境対策課）より</p> <p>1. みどりの食料システム戦略の概要について</p> <p>(1) 現状と今後の課題・・・農林水産業や地域の将来も見据えた持続可能な食料システムの構築が急務</p> <p>2. 有機野菜の取り組みの拡大について</p> <p>(1) 目標・・・2050年までにオーガニック市場を拡大しつつ、有機農業の取り組み面積を25%拡大</p> <p>3. 学校給食の取り組みについて</p> <p>(1) 有機食品を学校給食に利用している市町村は増加傾向</p> <p>(2) オーガニックビレッジにおける学校給食の取り組みは8割以上</p> <p>(3) 市町村事例説明</p> <p>(4) 有機農業関連予算概要</p> <p>モデル的先進地区の創出・・・オーガニックビレッジはR4年度55市町村→R5年度92市町村に増加。移住定住者、新規就農者も増加している。</p> <p>人材育成や需要喚起等を通じた現場の取り組みの推進</p> <p>グリーンな栽培体系への転換サポート・・・環境にやさしい栽培技術と省力化に資する先端技術等と取り入れたグリーンな栽培体系へ転換を推進</p> <p>有機農産物の販路拡大、新規需要開拓の推進</p> <p>※文部科学省、学校給食地場産物・有機農産物資料促進事業の説明</p> <p>②田んぼダム（浸水対策）について 農林水産省（農地資源課）より</p> <p>1.田んぼダムの仕組みについて</p>		

様式2

	<p>誤解されやすいポイント「施設ではない」「排水路や河川から水田に水を引き入れるものではない」「作物の生産に影響を与えない範囲で農業者の協力を得て実施する取り組み」</p> <p>2.政策的位置づけ、支援制度について</p> <p>3.河川整備や遊水地のコストが課題</p> <p>③養殖業成長産業化の推進について 水産庁（増殖推進部栽培養殖課）より</p> <p>1.動向・・・世界の養殖生産量は過去二十年間で約四倍に成長している</p> <p>2.養殖業成長化産業化総合戦略について</p> <p>3.今後の成長目標と方針について・・・天然く養殖</p>
<p>所 感</p>	<p>◆みどりの食料システム戦略について</p> <p>■学校給食について</p> <p>食料の安心・安全は言うまでもないものであり、学校給食については特に平素よりの取り組みが大切。その中で、学校給食に有機野菜等を用いる市町村が増加中のことだが、保護者の関心も高く、私立幼稚園などにおいては、給食に自園式でオーガニック給食を用いている園の評判が高いという話を聞く。</p> <p>有機食品を学校給食に取り入れるとなると、農家からの安定的な供給が不可欠であるので、社会の流れをいち早く感じ取り、早い段階からの供給者との取り組みが急がれる。</p> <p>■田んぼダム（浸水対策）について</p> <p>政府職員の方より田んぼダムについて教示頂いたが、以前、球磨川の氾濫による、被災地の様子を視察したことがある。また、田んぼの現地視察も行った。遊水地とは違い河川の水を引き入れる施設ではない。農家の収穫のための作業に影響を及ぼさないことが条件であるため、機能発揮は限定的ではあるが、一定の効果は期待できる。農家の方々の協力が必要であり、土手の高さを一定に保つ等の事前準備も必要。本市でも山田地区にて実証実験が始まっていると聞く。山田川においては、線状降水帯発生ともなれば、遊水地の準備なしには大規模な氾濫はまぬかれないという想いは以前よりある。</p> <p>■養殖業について</p> <p>世界の養殖生産量の拡大には驚かされた。近未来においては、世界との戦いになるのは必然であると考え。本市においては、甘夏ウニの養殖に着手するとのことだが、他の養殖業においても、品質第一で格差を意識した取り組みが大切であると感ずる。</p>

様式2

	<p>を促進</p> <p>(2) ハローワーク</p> <p>①企業を対象とした障がい者雇用状況に関するアンケートを実施し、個々の企業に寄り添った提案・指導</p> <p>②法定雇用率未達成企業及び公的機関に対する訪問指導及び集団指導</p> <p>③障がい者就職面接会・説明会、未達企業向けの雇用促進セミナー等の開催</p> <p>④障がい者就業・生活支援センターや障がい者職業センターとの連携により障がい者の定着支援まで一貫して行うチーム支援の推進</p> <p>⑤職場定着支援の一環として「精神発達障害者しごとサポーター養成講座」を開催</p> <p>(3) 効果・・民間企業による障がい者実雇用率上昇</p>
<p>所 感</p>	<p>◆雇用対策について</p> <p>保護者にとって、自分亡き後の事を考えるとき、障がいを持つ子どもの自立に不安を持たれると思う。最低賃金が支払えるユニバーサル農場を夢見て久しいが、共通の想いを持つ仲間との話し合いの場はあるものの一歩を踏み出せない。議員や行政職員を交えたボランティア組織による、人材発掘の場づくりが必要にも思う。</p>

様式2

	<p>4.養育費受領率・・・R3年28.1%→R13年目標40%</p> <p>5.子ども未来戦略（R5年12月22日閣議決定）</p> <p>(1) 全ての子ども・子育て世帯を対象とする支援の拡充</p> <p>「子育て・生活支援」・・・相談窓口の設置、生活支援強化、子どもの居場所支援</p> <p>「就業支援」・・・ひとり親の資格取得支援、高等職業訓練促進給付金</p> <p>「養育費確保支援」・・・親子交流支援事業、離婚前後親支援</p> <p>「経済的支援」・・・児童扶養手当、所得限度額の引き上げ、多子加算の拡充</p> <p>などの四本柱</p> <p>※令和6年度予算案ではひとり親支援にかかる事業の対象者要件の見直しを計上</p>
所 感	<p>◆放課後等デイサービスについて</p> <p>近年、発達障がい児への支援体制が加速度的に進んできたことは、大いに評価したい。その一方で、地方自治体の財政負担が急激に増加していることも見逃せない現状にある。また、施設のスキルや考え方にも大きな違いがあるように感じる。一人一人の子どもへの支援方法をしっかりと見極める必要があり、その上で実施方法を明確にすれば、無駄のない財政規模になるのでは。</p> <p>◆ひとり親家庭等について</p> <p>正規社員等、自立できる社会の支援体制が必要である。そのためには、病児保育室の整備や親子の交流施設の整備、そしてなんでも相談窓口の充実、できれば小学校校区ごとの「子ども食堂」の設置が望ましいと考える。</p>